

## 7章 性別役割分業意識と子育て参加頻度との関係

### 1. 性別役割分業意識

父親の性別役割分業意識に関する主な3項目として、1. 経済的に支えることは夫の役割である、2. 男性は外で働き、女性は家庭を守るべきである、3. 子どもが3歳くらいまでは母親は仕事を持たず育児に専念すべきである、という質問でたずね、全くそうでない～かなりそうである、の5段階で回答を求めた。

#### (1) 「経済的に家族を支えることは夫の役割である」という意識と子育て頻度との関係

##### ① 未就学児

経済的に家族を支えることは夫の役割であるという意識と、未就学児に対する子育て頻度（子どもの食事の世話）を図7-1に示す。経済的に家族を支えることは夫の役割であると思う人ほど子どもの食事の世話をする頻度は少なく、そう思わない人ほど頻度が多い。この結果から父親の稼得役割意識は、子どもの食事世話を少なくしていることが示された。他では、子どもの着替えや身支度をする、遊び相手になる、おむつやトイレの世話、本の読み聞かせにも同様の傾向が見られた。子どもと一緒に風呂に入ること（図7-2）も同様の傾向は見られるものの、他に比べてその傾向は弱く、子どもとの風呂は父親の役割となっていることがうかがえた。

図7-1 経済的に家族を支えることは夫の役割である意識と子どもの食事の世話をする頻度とのクロス集計

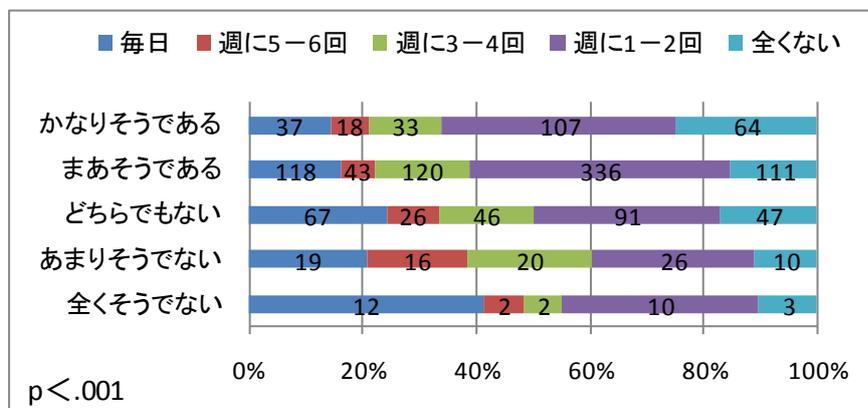
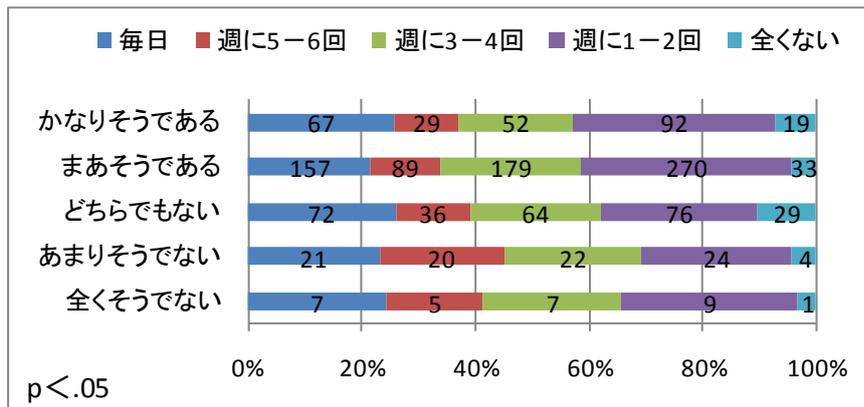


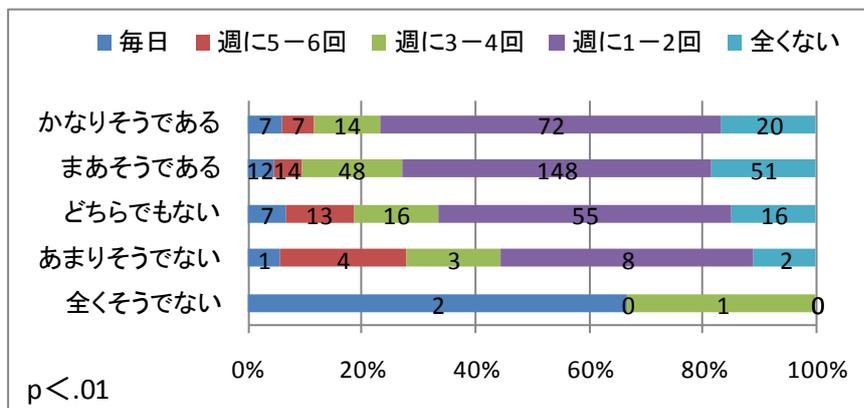
図 7-2 経済的に家族を支えることは夫の役割である意識と子どもの食事の世話をする頻度とのクロス集計



② 小学生以上

経済的に家族を支えることは夫の役割であるという意識と宿題や習い事の面倒を見る頻度とのクロス集計の結果を図 7-3 に示す。経済的に家族を支えることは夫の役割であると思う人ほど子どもの宿題や習い事の面倒を見る頻度は少ない。他の項目では、同様の傾向はなく、父親の稼得役割意識と小学生以上の子育てに参加との間にはあまり関係性がないことが考えられた。小学生以上になると、日常的な子どもへの世話役割は少なくなるものの、休みの日に外で遊ぶなど、世話的なかわりではない父親の子育て参加の質が重要になってくるであろう。

図 7-3 経済的に家族を支えることは夫の役割である意識と宿題や習い事の面倒を見る頻度とのクロス集計

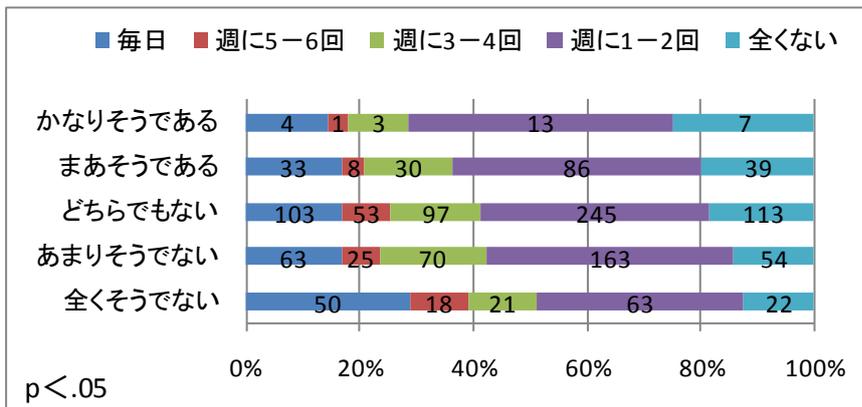


(2) 「男性は外で働き、女性は家庭を守るべきである」という意識と子育て頻度との関係

① 未就学児

男性は外で働き、女性は家庭を守るべきであるという意識と子どもの食事の世話をする頻度とのクロス集計の結果を図 7-4 に示す。父親が男性は外で働き、女性は家庭を守るべきという伝統的性別役割分業意識を強く持つほど、子どもの食事の世話をする頻度が少なく、反対に平等的な分担意識を持つ父親ほど多く行なっていることが明らかになった。他の項目も同様に一貫した傾向が見られた。

図 7-4 男性は外で働き、女性は家庭を守るべきであるという意識と子どもの食事の世話をする頻度とのクロス集計



② 小学生以上

男性は外で働き、女性は家庭を守るべきであるという意識と子どもと一緒に家で過ごす、遊ぶ頻度とのクロス集計の結果を図 7-5 に示す。父親が男性は外で働き、女性は家庭を守るべきという伝統的性別役割分業意識と、父親が子どもと一緒に家で過ごす、遊ぶ頻度とは一貫した傾向はないことが明らかになった。他の項目では、有意な結果は得られなかった。この結果からも小学生以上の子育て参加は、質的に未就学児の世話役割を含む子育てとは異なる特徴があり、頻度だけではなく、かかわりの質や内容といったものも重要であることが考えられた。

図 7-5 男性は外で働き、女性は家庭を守るべきであるという意識と子どもと家で遊ぶ、過ごす頻度とのクロス集計

